

授業科目	*マルチメディア・イングリッシュ基礎 (Aクラス)				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	TO21607E		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	林 裕二							
授業概要	<p>1.E-learning の CHIeru を教材として英語を多面的に学ぶ。マルチメディア教室の特性をいかして、特にリスニングの向上と発音の上達を目指す。</p> <p>2.PCを使っての英語の文書作成の基礎を学ぶ。</p> <p>3.ブラインドタッチ(タッチタイピング)ができるようになる基礎を身につける方法を学ぶ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1 CHIeru の 1,500(学習)マイルを達成できる。これが「レポート外の提出物」として、20%になります。部分点はありません。</p> <p>2 TOEIC の 400 点レベルのリスニングができる。</p> <p>3 基本的な母音と子音の聞き分けができ、その正確な発音ができる。</p> <p>4ディスプレイを見ながら、ブラインドタッチでの基礎的な入力ができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	20	0	10	20	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20						20	
知識・理解 (DP1-2)	20						20	
知識・理解 (DP1-3)	10	20					30	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				5			5	
態度 (DP4-2)				5			5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					20		20	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
CHIeru 入門リスニング 基本構文 Level 2 を正答率8割以上解答できる。				CHIeru 入門リスニング 基本構文 Level 1 を正答率9割以上で解答できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	オリエンテーション TOEIC Mini Test (Web 上のテスト)	講義・演習	復習	30
2	映画館にて、見る映画を選ぶ リスニング初級 (DIALOGUE)より	講義・演習	予習・復習	45
3	映画を見よう 映画館にて、チケット販売員と客の会話	講義・演習	予習・復習	50
4	映画を見よう 映画館でチケットを買う	講義・演習	予習・復習	50
5	映画を見よう 映画好きの2人の会話	講義・演習	予習・復習	50
6	映画を見よう 映画館でチケットを買い、その後ポップ コーンを買う	講義・演習	予習・復習	50
7	空港での出来事 空港から町へ行くリムジンバスはど こ？	講義・演習	予習・復習	50
8	空港での出来事 空港にて、搭乗のチェックインをす る	講義・演習	予習・復習	50
9	空港での出来事 空港にて、スーツケースが届いてい ない	講義・演習	予習・復習	50
10	空港での出来事 国内線専用空港にて、チェックイン する	講義・演習	予習・復習	50
11	空港での出来事 ウェブサイトでチケットを購入した旅 客の空港でのチェックイン	講義・演習	予習・復習	50
12	税関でのやりとり 空港の税関での質問に答える(そ の1)	講義・演習	予習・復習	50
13	税関でのやりとり 空港の税関での質問に答える(そ の2)	講義・演習	予習・復習	50
14	税関でのやりとり 「滞在目的はハッキリと」(空港の移 民局にて)	講義・演習	予習・復習	50
15	まとめ 課題提出	講義・演習	予習	50
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	英検3級程度のリスニング問題に対応できる知識が理解できていること。			
テキスト	<p>共通テキスト 巽 一朗 (著) 英語の発音がよくなる本 出版社: 中経出版 (2005/03) ISBN-10: 4806121819 ISBN-13: 978-4806121817</p> <p>授業計画の「進行」:「テーマ・講義内容」に示しているのは、CHleru のダイアローグのタイトルです。3回目以降は、これにモノローグ も加わります。原則として、1回の授業でダイアローグ 1つ、モノローグ 1つを学びます。</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>毎日ウィークリー 音声 (http://mainichi-podcasting.cocolog-nifty.com/weekly/) 学内の情報処理演習室でリンクしているタイピング練習サイト(MyTyping)。これは学外からは、 https://typing.twi1.me</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>スマホ世代の皆さんには、PCがなじみがないものになりつつあります。PCに触れて、使うことで慣れてもらいます。WEB上の教材を使い、いつでもどこでもネット環境があれば学習可能な教材を中心に英語を学びます。バスや電車の待ち時間など、ちょっとした時間を活用して、自分のペースで学習できるのが、この E-learning の最大のメリットです。学びの蓄積は、「学習マイル」で自分で確認できます。タッチタイピングは、社会に出てとても役立つスキルです。習い始めは大変だと思いますが、少しずつ取りくむ習慣を身につけましょう。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>これまでの英語の勉強がどちらかといえば、文字を中心としたものです。この授業では、音声と文字の関係を中心に学びます。英語の音声は最初は難しく聞こえるかもしれませんが、しかしながら、それは慣れの問題です。学びやすい教材を選んでいきますので、授業外にきちんと時間を確保して取り組めば、学習記録(1,500マイル)も達成できます。英語に触れれば触れるほど、聞く力は伸びていきます。授業の進行予定よりも先に進んでも大丈夫です。自動的に送られてくる「週刊英語」は楽しく学ぶことができます。</p>			